

花のある 空間

大高 令子



飾らない美しさが魅力 「草花のパニエ」

今月の花材

マーガレット(黄色)・ニゲラ(淡い青色)
ミント・アイビー

木々の若葉がまぶしい季節となりました。

今月は、小さな草花を集めてシャンペトル風にアレンジしました。シャンペトルとは、フランス語で「田園風の」という意味です。

あまり手を加えず、自然のままであるかのように素朴に見せるのがシャンペトル風です。

器についても、素朴なパニエ(フランス語でカゴ)を使うと、野山に

草花を摘みに行ったような味わいが楽しめるでしょう。

アレンジの前に、パニエにセロファンを敷き、パニエから飛び出ない程度の高さの給水性スポンジをセットしておきます。

まず、マーガレットを挿します。あまり角度を付けず、地面に生えているかのようにまっすぐ挿しましょう。自然の植生のように、高低差やメリハリをつけるのがコツです。

次に、ニゲラを挿します。マーガレット同士の隙間に、アクセント的に挿すとよいでしょう。

最後に、ミントとアイビーを挿して、器の縁のあたりの隙間をしっかりと詰めます。

どの植物も余分な葉を落とし、茎を鋭角にカットして深く挿します。

まるで草原の一角を切り取ったような、やさしくナチュラルなムードをお楽しみください。